

一般社団法人日本熱帯医学会 平成 30 年度第 2 回評議員会議事録

開催日時：平成 30 年 11 月 10 日（土） 12:40～13:50

開催場所：長崎大学グローバルヘルス総合研究棟 1 階大セミナー室（長崎市）

出席評議員数：総評議員 97 名中、出席評議員 87 名（本人出席 48 名 委任状出席 39 名）

- ・ 評議員の過半数の出席により平成 30 年度第 2 回評議員会が成立し、狩野繁之理事長が議長となり以下の審議等を行った。
- ・ 評議員会開催に先立ち、2018 年 3 月 20 日に亡くなられた竹内勤名誉会員（慶應大学名誉教授）のご冥福を祈り黙とうをした。
- ・ 森田公一大会長より本大会の概要／経過が報告された。

【報告事項】

(1) 平成 30 年度庶務報告、編集報告、会計報告

- ・ 山本太郎庶務担当理事より、平成 30 年 9 月 30 日現在の会員数は、654 名であると報告があった。（特別会員 6 名、名誉会員 18 名、功労会員 37 名、評議員 97 名、正会員 312 名、学生会員 81 名、在外会員 83 名、ポスドク会員 16 名、団体会員 4 名）また、会員の減少に対し、会費免除会員の占める割合が年々高くなっていること、年代別の会員割合を見ると 40 代以上が全体の 76%を占めていると報告があった。
- ・ 橋爪真弘編集担当理事より、平成 30 年 9 月 30 日現在の論文の投稿・掲載状況について報告された。（過去 4 年間の投稿数は年に 20%の上昇、掲載数は年 40 編の同数）
- ・ 金子修会計担当理事より、本年度会計の中間報告があった。

(2) 山城哲次期大会長より、来年度大会（平成 31 年 11 月 8 日（金）～11 月 10 日（日））の準備進捗状況の報告があった。

(3) 各委員会報告

- ・ 河津信一郎日本医学会用語委員より、遺伝学用語の改訂に関して学会意見の報告があった。（Dominant→顕性、Recessive→潜性）
- ・ 門司和彦史資料委員長より、日本学術振興会の委託研究「医学史の現代的意義」の終了や「感染症アーカイブズ」HP の立ち上げが報告された。
- ・ 平林史子男女共同参画推進委員長より、本大会でのワークショップの報告があった。また、狩野繁之理事長より、男女共同参画学協会連絡会の「大学等高等教育機関の入学試験に対する声明」が報告された。
- ・ 小林潤国際委員より、来年／再来年開催予定の国際会議について報告があった。

(4) その他

- ・ 狩野繁之理事長より、夏の学生合宿のプログラムと成果の報告があった。
- ・ 有吉紅也理事より、研究成果公開促進費（国際情報発信強化）に申請したと報告があっ

た。

【審議事項】

- (5) 平成 30 年度第 1 回理事会議事録および第 1 回評議員会議事録
- ・ 承認された。
- (6) 功労会員の推薦
- ・ 功労会員候補者（太田伸生、小林富美恵、真喜屋清、森口育子）が承認された。
- (7) 平成 31 年度予算案と経理細則改定案
- ・ 金子修会計担当理事より予算案の提案があり、承認された。
 - ・ 経理細則改定案が承認された。
- (8) 平成 32 年度大会
- ・ 狩野繁之理事長より、日本国際保健医療学会および日本渡航医学会との 3 学会合同大会が提案され、承認された。開催地は 3 ヶ所の案が議論されたが、継続審議となった。
- (9) 2019 年度からの Trop Med Health APC
- ・ 橋爪真弘編集担当理事より、来年 1 月からの新 APC の提案があり、承認された。
- (10) その他
- ・ 入会者、退会者は、それぞれ入会と退会が承認された。
 - ・ 60 周年記念事業の具体的提案は継続審議となった。
- (12) 閉会
- ・ 以上の議事を終え、閉会した。上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人（監事）がこれに記名押印する。

平成 30 年 11 月 10 日

議 長 狩野 繁之 ⑩

議事録署名人 濱野 真二郎 ⑩

議事録署名人 小林 潤 ⑩